

(中国乙22)
梅毒 発生推移
=2025年9月度=

発表: 2025年10月11日 国家NDPCA

作成: 2025年10月13日
日中医療衛生情報研究所

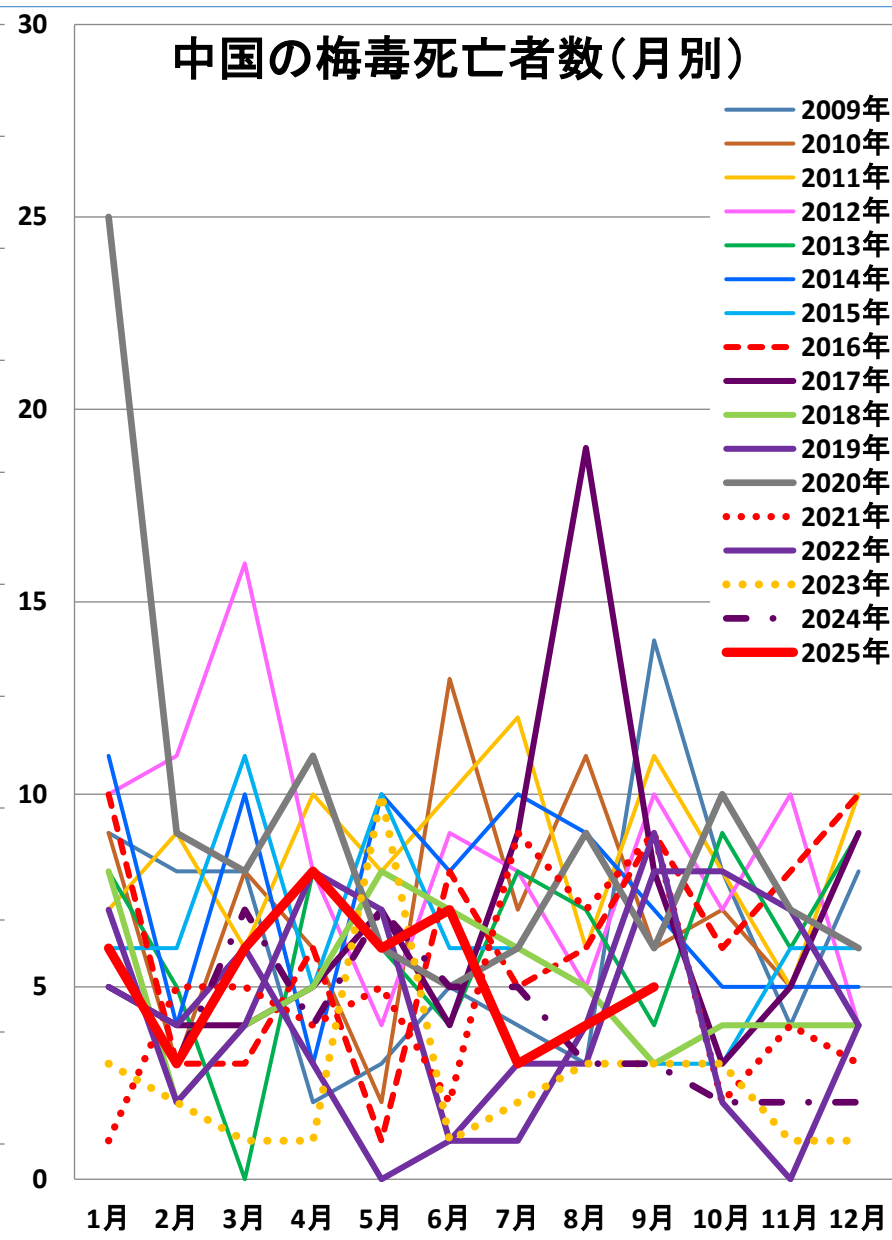
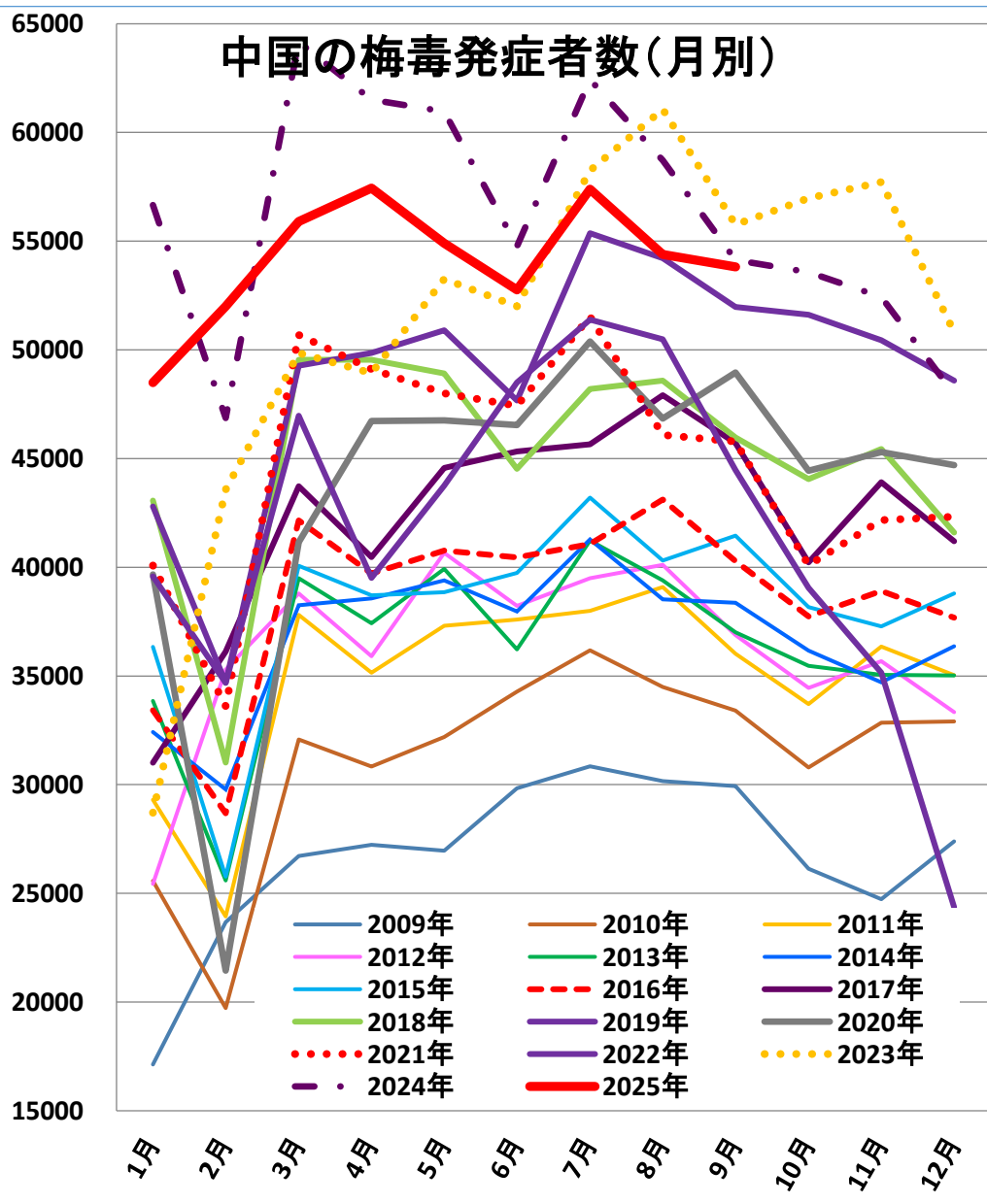
梅毒

- エイズ・B型肝炎・C型肝炎といった他の性感染症も右肩上がりの中、（淋病は2018年度減少に転じた？）
- 中国の梅毒の特徴は、
 1. 毎年数十万人の患者が出ており、毎年増加の傾向
 2. 月別では、毎年2月に発症者数が底を打ち夏場が増え、秋口に一旦減少後に12月に小さなピーク
 3. 2015年は、433,974例となったが、

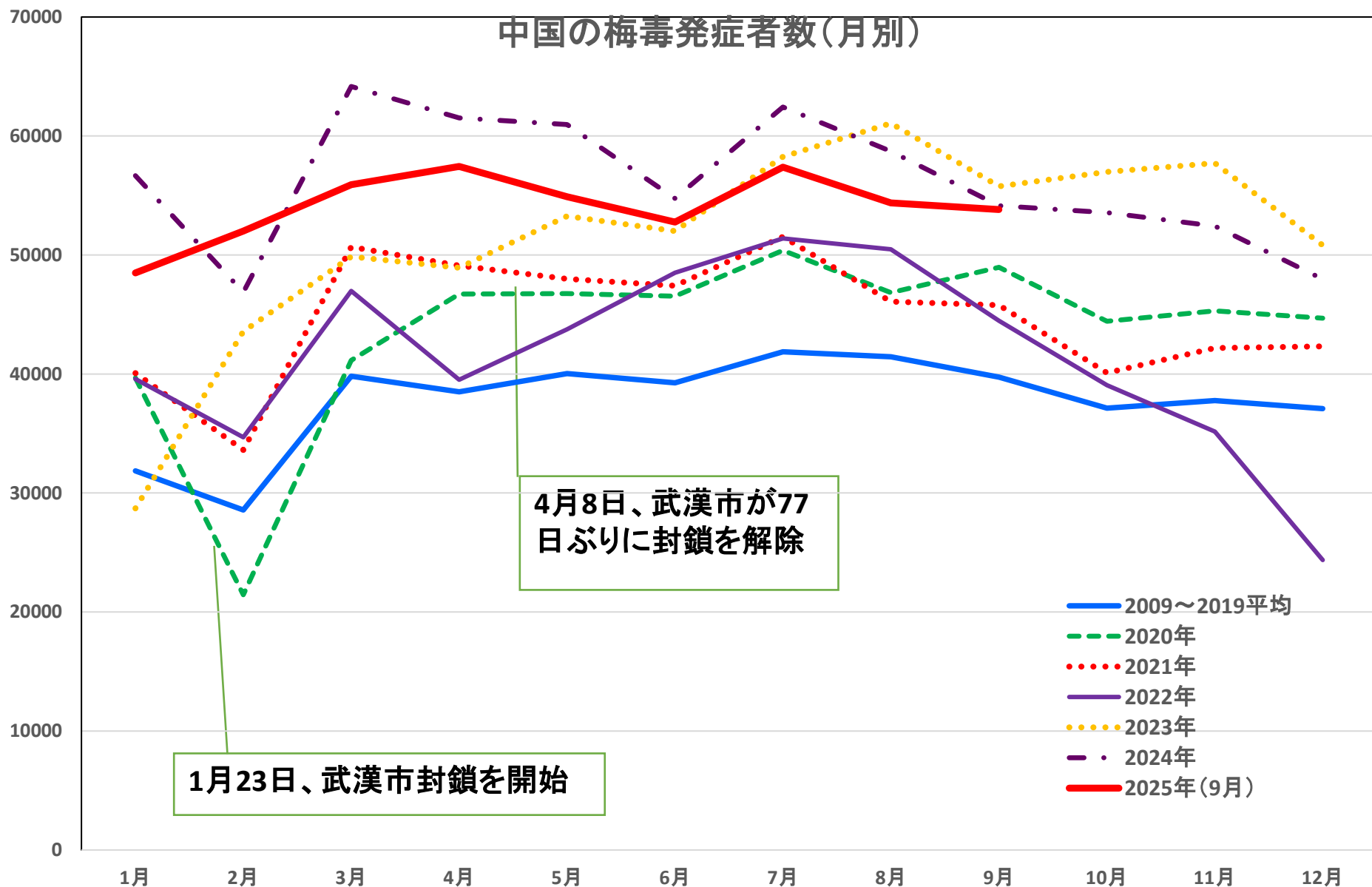
2016年438,199例、	2017年475,860例、
2018年494,867例、	2019年535,819例に。

2019年5月から連続9か月続いた過去最悪の状況は2020年1月以後激減、コロナの影響？
2020年は464,435例と減ったが、死者は増えている。
2021年480,020例、2022年441,159例、
2023年530,116例、2024年は674,184例（速報ベース）。
中国4大STD時代の復活か。

乙22：梅毒

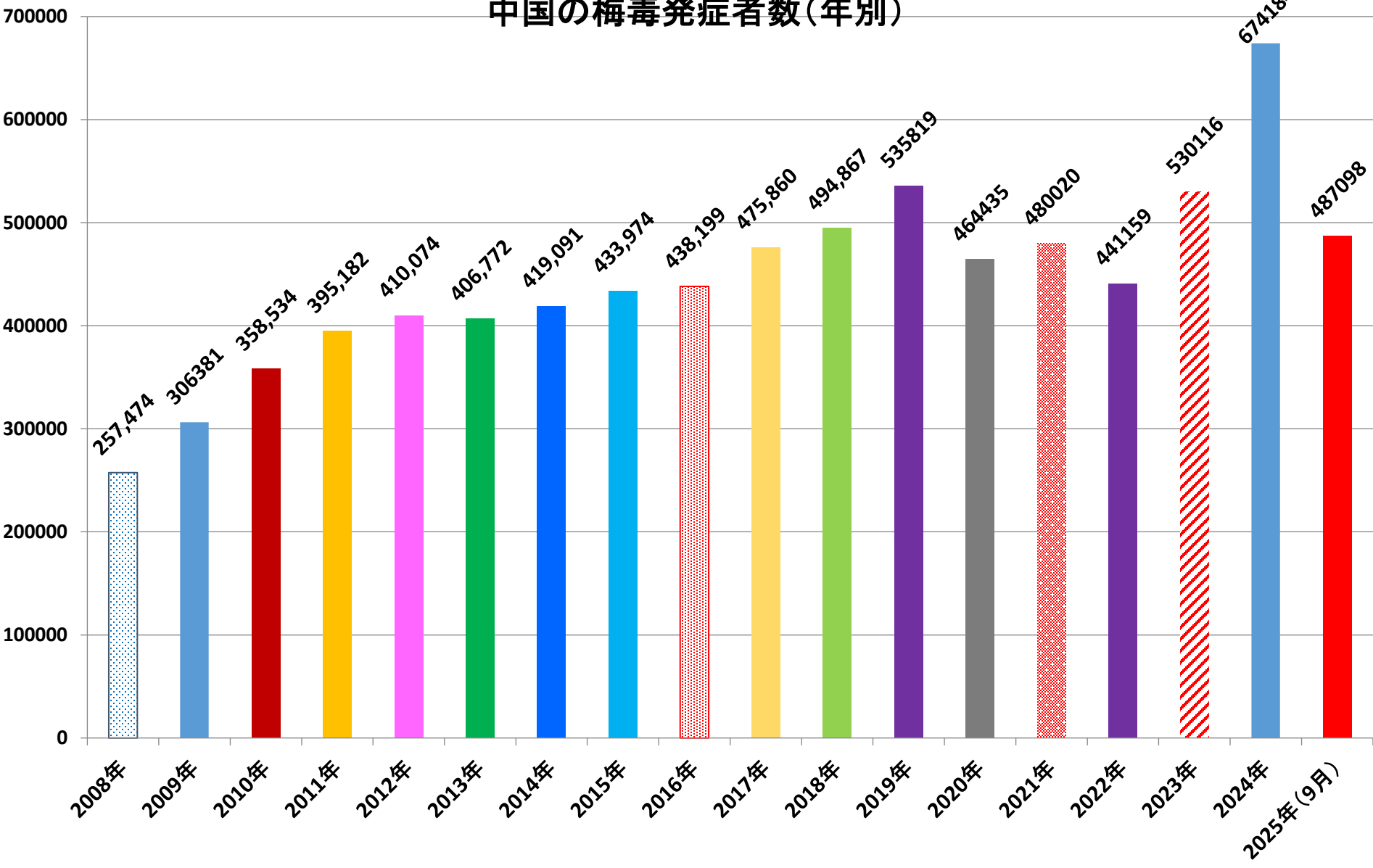


乙22：梅毒：コロナの前後



乙22：梅毒

中国の梅毒発症者数(年別)



乙22：梅毒

